

みやけの風

第 76 号

平成14年(2002年)4月27日(土)発行
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター
 発行責任者：上原 泰男
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階
 東京ボランティア・市民活動センター気付
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646
 E-mail：tokyocenter@cmpp.org

「ふれあい集会は雨で、ちんどっこしんどかったな〜」「でもよ〜、なんか初めて島の者(もん)でつくった集まりって感じだったじゃな」「おうよ、出しもんもみんな島の仲間やだったしな」「支援の仲間たちが雨の中で頑張ってくれたおかげだしよ」「だから」「島民連絡会の発足会のときゃ、わりゃ泣いてたっけが」「島原や有珠の人が集めてくれたカンパをもらったときにはよ〜、なんか、やたら目から汗が出ちまってよ〜」「ありゃ汗だからよ」「大変だが、これからが踏ん張りどきだしよ」「おうよ、がんばんべえよ」

みんなの声

(1) 島民集會に参加して

ここは下田、東京まで本当に遠い所です。こんな遠い遠い所ですが、東京ボランティアセンターの方から、車の手配をしていただきました。遠方として参加するのは、今回初めてです。

生憎の雨になってしまいましたが、下田発〜東京行きのワゴン車に乗り出かけました。参加者は5名と少ない人数でしたが、朝7時に下田を出発いたしました。沼津を通り、足柄インターでトイレタイム、足柄ってけっこう寒い所で、車を降りて感じました。外の景色を見ていると、緑が沢山あったのに、だんだんと、ビルが立ち並び車の通りは激しい東京にやってきました。(だいたい3時間半かかりました。)

「わっビルだ!!」田舎者の声がつい、でてしまいます。

芝浦の会場に着き、どこから回ろうかと思いつつも、ついつい立ち話なんかもしてしまい、懐かしい顔ぶれに「あ〜、まだ避難生活なんだよな」と感じました。

====参加者の感想 IN下田====

- 皆に会えて良かった。
- 子供の喜ぶ姿が良かった。雨にも関わらずボランティアの人達の頑張りが印象に

残った。

- 友達と先生に会えた事が本当に良かった。
- 懐かしい顔ぶれに、会えて良かったとしみじみ感じました。雨の中、懸命にボランティアをしてくださった方々に、深く感謝いたします。連日の、計画もいろいろと大変だった事と思われます。本当にありがとうございました。

====以上====

まだ、先行きがはっきりとしませんが、計画をたて、今の生活と、復興と考えていかなければいけない。それと、同時に、いろいろな面で、不平不満はでてきます。現実から目をそむけず、自分達で、解決方法を考えて行かなければならない時期にさしかかって来たと感じます。

(静岡県下田市 池田 弘子)

(2) 島民集會での子ども達

「果たして何人の子ども達が来てくれるだろう」

あいにくの雨の日曜日、久しぶりに会う子ども達の笑顔を楽しみにしていた私達は、不安な気持ちで開始時刻を迎えた。しかし、各避難先から到着したバスからおりてきた列から照れ笑いしている小さな顔をいくつも見つけホッとした。

三宅島災害・東京ボランティア支援センターの黄金週間

来週の「みやけの風」はお休みさせていただきます。
 センター事務局のお休み：5月3日(金)〜6日(月)

七島信用組合 三宅島支店 仮営業所移転のお知らせ

移転日：平成14年4月30日(月)より 新仮営業所にて営業

新住所：東京都港区浜松町1-29-9 (FA小林ビル5階)

(地下鉄大門駅A2出口より徒歩3分、JR浜松町駅北口より徒歩3分、旧店舗より浜松町駅をはさんで貿易センタービルの前を進み、次の交差点で横断歩道をわたってすぐの浜松町セントラルビルの左となり、1階にドトールコーヒーのあるビルの5階)

電話番号：03-5405-9568/03-5405-9583 FAX番号：03-5405-9584

★電話番号、ファックス番号ともに変更はありません。

様々なイベントが始まると、呼び込みも手伝ってガテントに入り切れない程、子ども達が来てくれた。そして、秋川での写真に声をあげたり、折り紙の折り方を熱心に見つめたり、又、自分の近況を考えながらお手紙に書いたりと楽しそうだった。さらにお菓子をつまみ、新しい学校のことなどを話しながらにぎやかな時間を過ごした後の手品では、鮮やかな手さばきに目を見張り、「すごーい」の一言。

この日の参加者は卒業生も入れ65名にもなり、久し振りの子ども達の元気な姿は、大人にも子どもも同士にも何よりの力となった。(三宅村立小学校教諭 浅沼 友子)

(3) 島民集会に参加して

今回島民ふれあい集会に参加して、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。懐かしい顔に会い、近況を報告しあい、また、ただあいさつを交わすだけでも「ああ、頑張っているんだな、元気にやっているんだな」という思いがして勇気付けられます。

今回はMFB(三宅島ふるさとバンド)も出演させていただき感謝しています。MFBは5年前に三宅島で生まれたバンドで、島を題材にしたアコースティックなオリジナル曲を中心に活動しています。自分たちの楽しみとして活動していることが、同時に少しでも島の方々に喜んでいただけるもの

になるのなら、これほど幸いなことはありません。島のすばらしさを表現する活動を少しでもいいから続けていけたらと思っています。

当日はあいにくの雨模様でしたが、たくさんの人たちが集まり盛況でした。準備から後片付けまでさぞご苦労なことだったと思います。運営されたスタッフの方や多くのボランティアの方々に心から敬意を表したいと思います。ありがとうございました。

(三宅島ふるさとバンド 穴原 甲一郎)

(4) ハンディキャブさんありがとう

第4回島民ふれあい集会は朝からあいにくの雨でしたが、在宅の介護を必要としている方や施設入所中の方など33名の方がハンディキャブ(車椅子対応の福祉車両)を利用して参加されました。前回より10名も多い参加です。

あじさいの里から都内の施設に入所し、避難後初めて集会に参加された方のこぼれんばかりの笑顔がたいへん印象に残っています。また、和式トイレがづらい方のためのポータブルトイレもサポート体制が定着してきました。人に迷惑をかけるからと遠慮される方も多いのですが、そうした方たちにこそ集会に参加していただける努力を、今後とも、していきたいと思っています。

(三宅島社会福祉協議会 桑村 健司)

三宅島、新島、神津島災害 復旧・復興 パネル展

開催期間：5月5日(日)～5月9日(木)

開催場所：新宿駅西口ひろばイベントコーナー

開催内容：パネル展(180点)／物産展／実物展示(火山灰・スコリア)／クイズラリー
神着木遣太鼓(5月6日13:00/14:30/16:00)など

主催：三宅島、新島、神津島災害 復旧・復興パネル展実行委員会

(東京都建設局、東京都総務局、東京都駐車場公社、東京都島しょ振興公社)